

5 - 1 東海・南関東地域の地震活動（1988 年 5 月～10 月）

Seismic Activity in the Tokai and Southern Kanto Districts (May - October, 1988)

気象庁地震予知情報課
Earthquake Prediction Information Division
Japan Meteorological Agency

1988 年 5 月～10 月までの東海・南関東地域における震源の深さ 90 km 以浅の月別震央分布を第 1 図(a)～(f)に、同年 5 月～7 月と 8 月～10 月の 3 ヶ月間震央分布を第 2 図(a)・(b)に示す。また、参考のため、同年 1 月～6 月までの半年間の震央分布についても第 3 図に示した。

この期間、東海地域では特に目立った活動はなかったが、周辺域では伊豆半島東方沖の群発地震活動（7 月 26 日～8 月 25 日・最大地震 M5.2）をはじめとして、いくつかの注目される活動があった。これらの詳細については別項で述べる。各地の主な活動は次のとおり。

<東海地域>

活動のパターンに特別な変化はない。6 月 1 日 18 時 09 分に静岡県南部で M4.3*（最大震度 1：静岡・御前崎・網代）の地震が発生したのが目をひく程度。このほか主なものとしては、静岡県の 9 月 16 日の M3.4（浜名湖付近）、東海沖の 5 月 20 日の M3.8*（遠州灘）・7 月 7 日と 22 日の M3.0 および 14 日の M3.6（遠州灘）、8 月 13 日の M3.1、9 月 7 日の M3.0 と 21 日の M3.1、愛知県の 9 月 3 日の M3.0（北部）・10 月 15 日の M3.3（北西部）の地震である。

<東海地域周辺>

伊豆半島付近の海域や南関東とその付近での活動が活発であった。

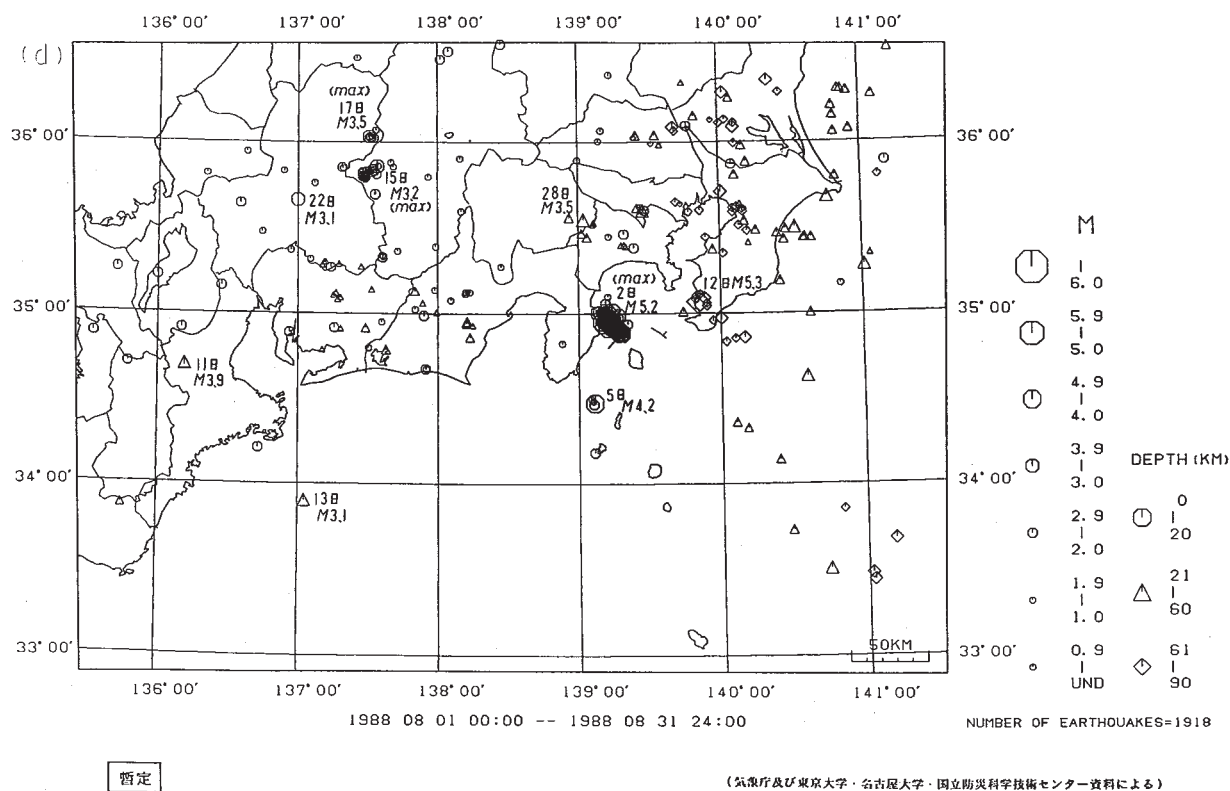
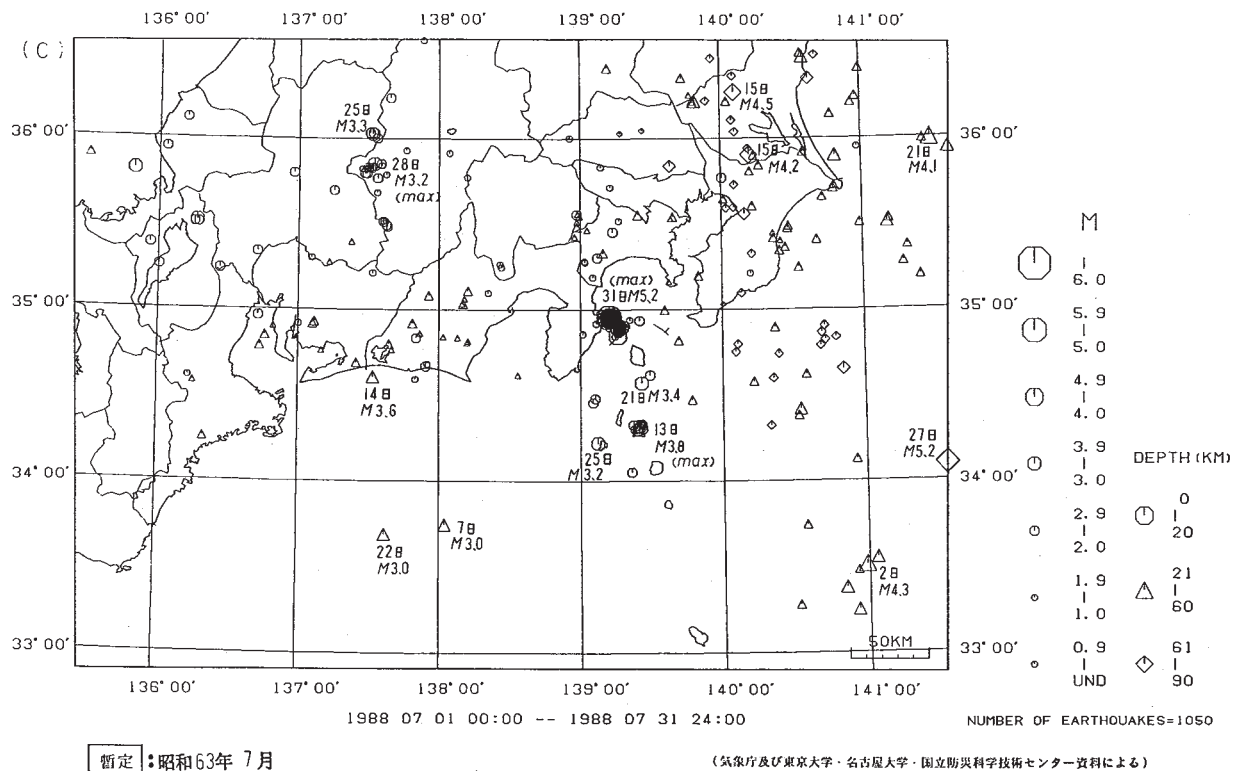
伊豆半島東方沖では 5 月 31 日～6 月 4 日にかけてと 7 月 26 日～8 月 25 日にかけて群発地震が発生、後者の活動はきわめて活発で地震回数は計 16,988 回（鎌田）、最大地震は M5.2*（7 月 31 日 08 時 40 分・8 月 2 日 20 時 16 分）となった。有感地震は計 290 回で最大震度は 4（4 回）。そして、8 月 25 日以降もしばらくこの活動の余効が続いた。これに比べ前者の活動はそれ程顕著なものではなく、地震回数も計 77 回（鎌田）で有感地震も 1 回（最大震度 1）のみであった。最大地震は M3.2*（6 月 1 日 01 時 42 分）。

また、新島近海でも 4 月 20 日～5 月 14 日（北西沖）と 7 月 13 日～15 日（南東沖）にかけ地震活動が活発化した。震源決定された地震は北西沖が 34 個で最大地震は M4.2*（4 月 20 日 20 時 50 分・5 月 12 日 00 時 44 分）、有感地震は 5 回で震度の最大は 2（3 回）であった。南東沖では震源決定地震数 18 個、最大地震 M3.8*（13 日 10 時 35 分）、有感地震 2 回、震度の最大 2。

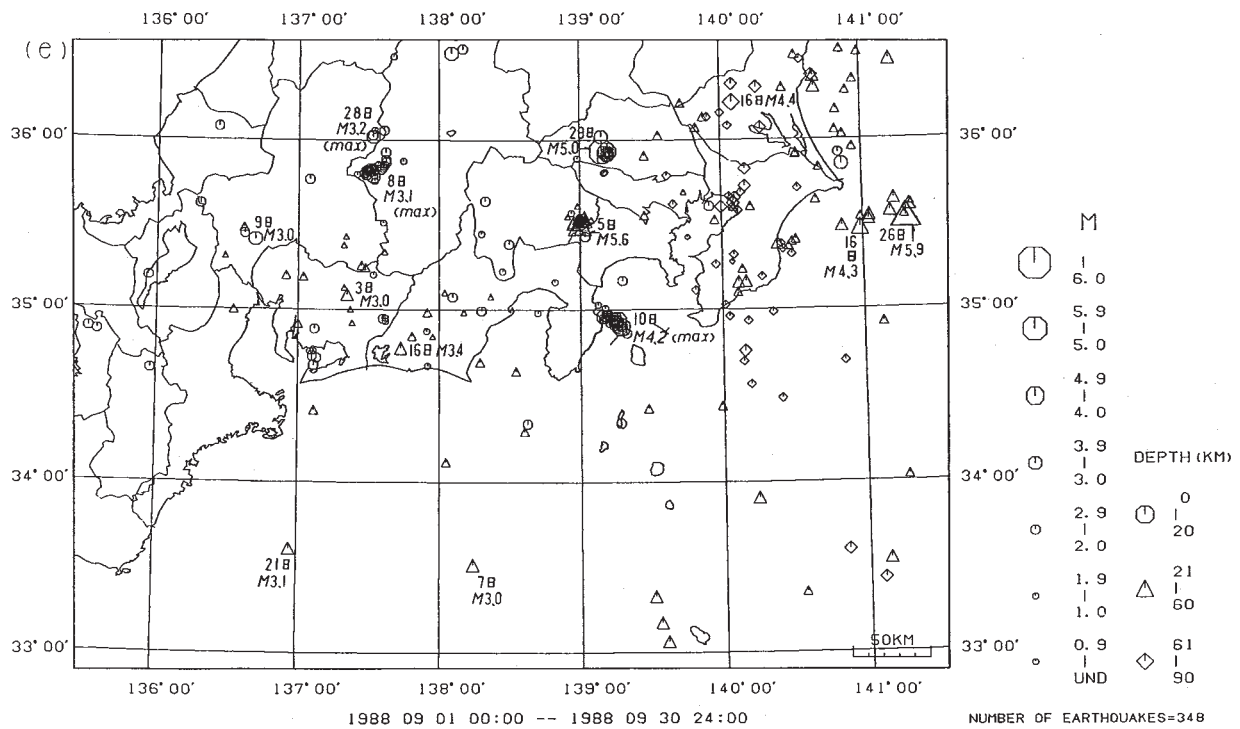
南関東とその付近で注目された活動は、① 8 月 12 日 14 時 15 分の千葉県南部の M5.3,* ② 9 月 5 日 00 時 49 分の山梨県東部の M5.6,* ③ 9 月 26 日 17 時 23 分の千葉県東方沖の M5.9,* ④ 9 月 29 日 17 時 23 分の埼玉県南部の M5.0,* ⑤ 10 月 28 日 15 時 13 分の千葉県東方沖（勝浦付近）の M5.1* の 5 地震である。このほか目をひいたものは、長野県の 10 月 1 日の M4.3*（西部）、新島近海の 8 月 5 日の M4.2,* 千葉県東方沖の 6 月 25 日の M4.1* と同南東はるか沖の 7 月 27 日の M5.2,* および同東方沖の 9 月 16 日の M4.3* と 10 月 15 日の M4.3,* で茨城県の 7 月 15 日の M4.5*（南

西部)と M4.2* (南部) および9月16日の M4.4* (南西部)のほか同東方沖の5月30日の M4.7*と7月21日の M4.1, 八丈島北東沖の7月2日の M4.3*の地震。

なお, 上記のうち伊豆半島東方沖と新島近海の各2つの地震活動および南関東とその付近の注目された5地震(①～⑤)については, 別項に図表を示して解説した。また, M 値に*印を付した地震は, 有感(気象官署)となった地震を表わす。

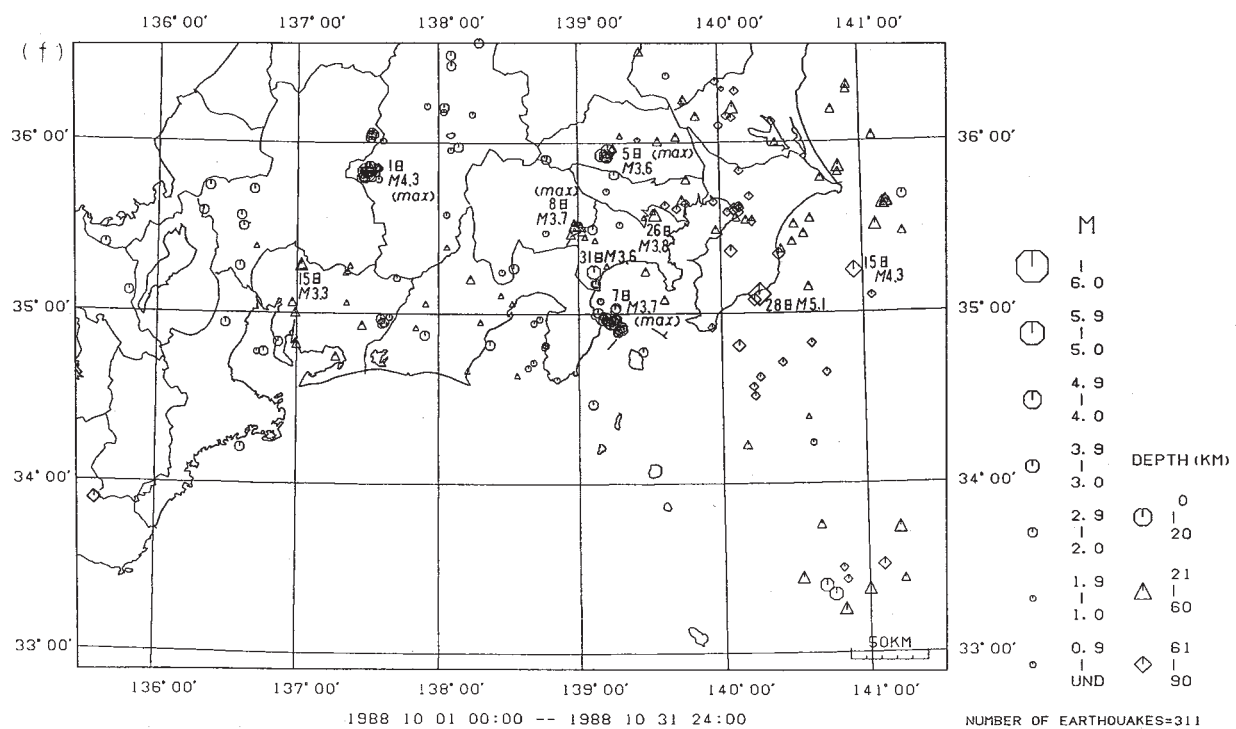


第1図 つづき
Fig. 1 (Continued)



暫定

(気象庁及び東京大学・名古屋大学・国立防災科学技術センター資料による)

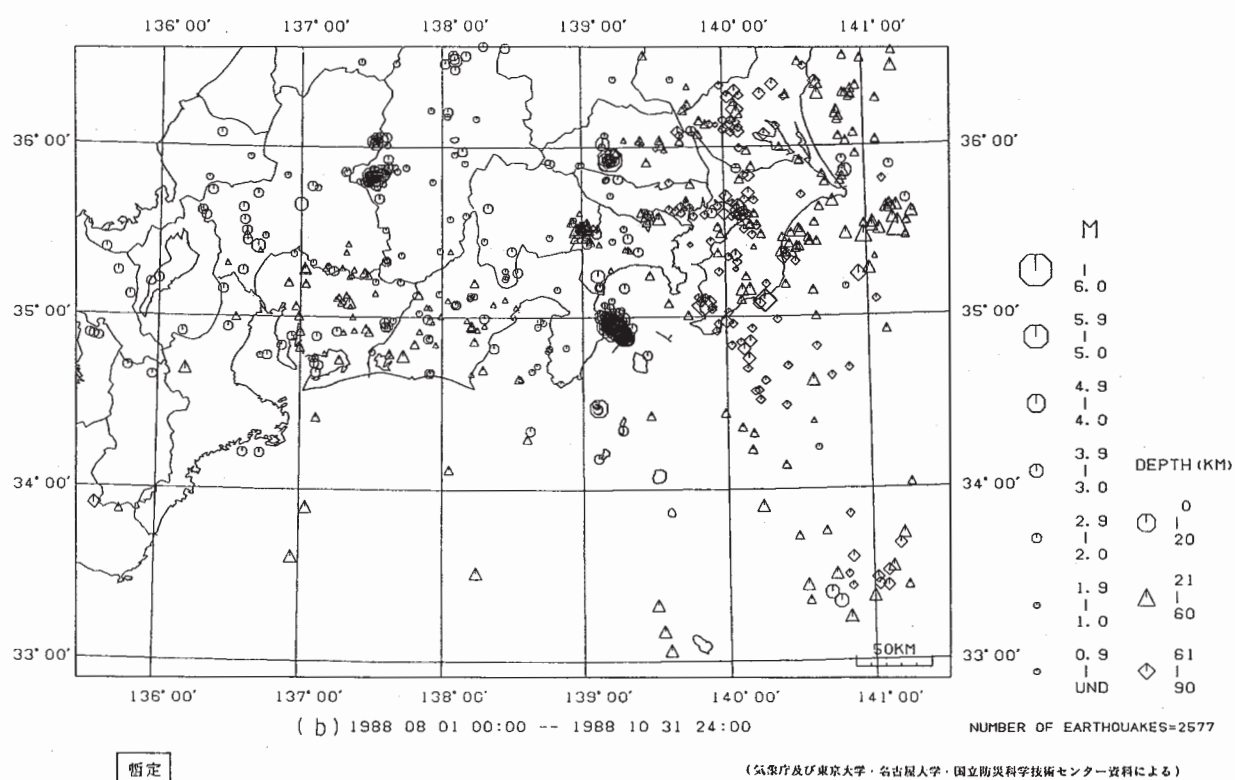
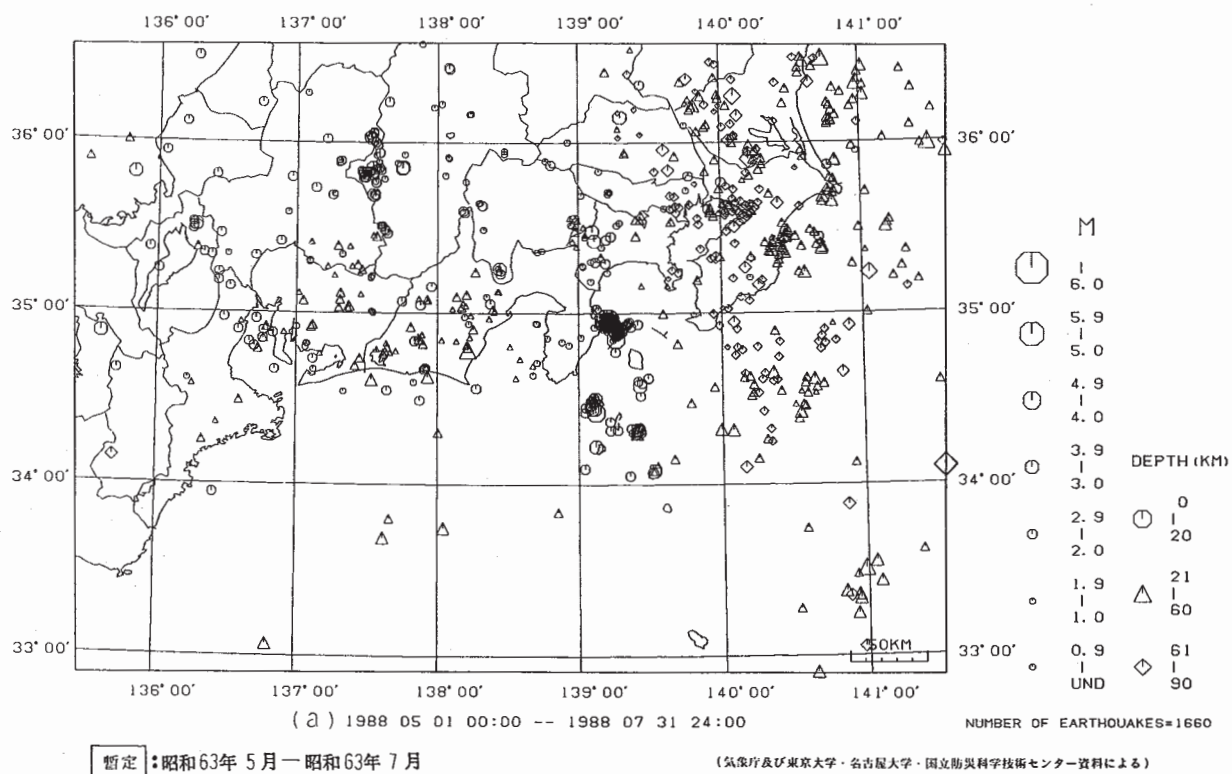


暫定

(気象庁及び東京大学・名古屋大学・国立防災科学技術センター資料による)

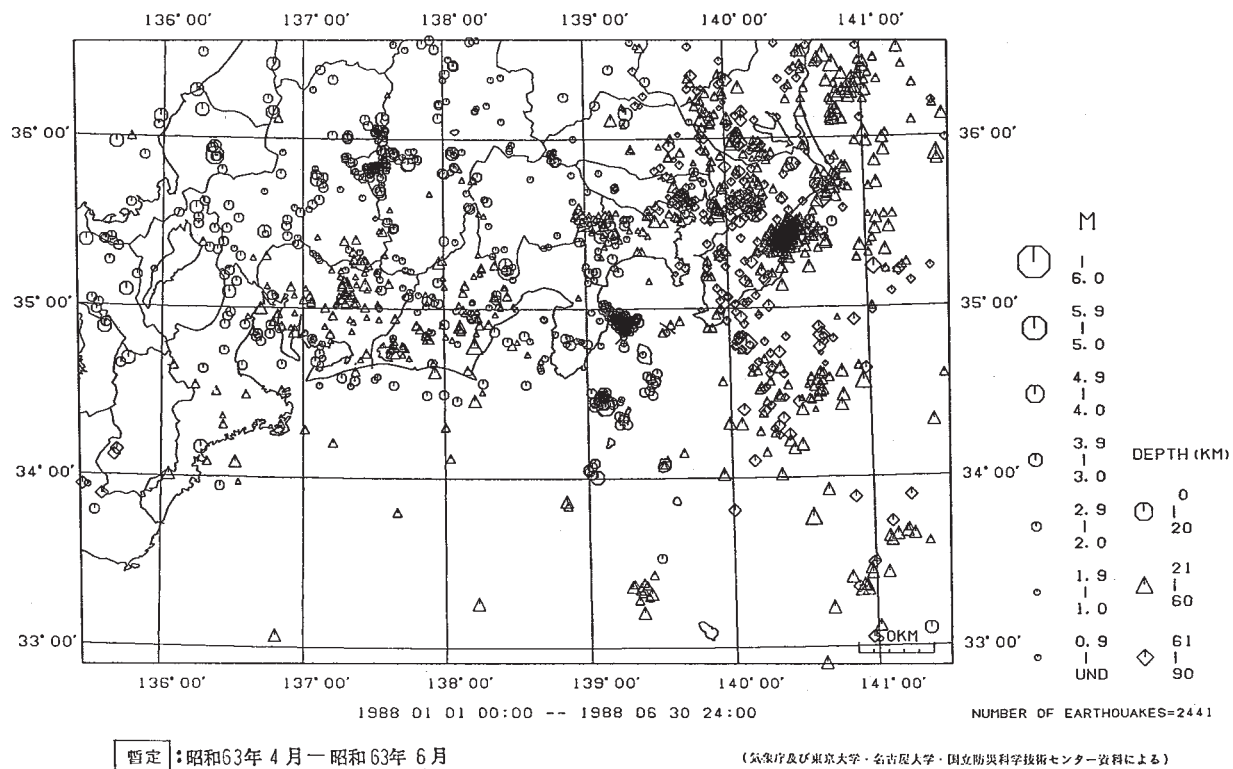
第1図 つづき

Fig. 1 (Continued)



第2図(a)・(b) 東海・南関東地域に発生した地震の3ヵ月毎の震央分布

Fig. 2 (a) and (b) Earthquake epicenters in the Tokai and Southern Kanto Districts in for (a) May - July and (b) August - October, 1988.



第3図 1988年1月～6月に東海・南関東地域に発生した地震の震央分布
 Fig. 3 Earthquake epicenters in the Tokai and Southern Kanto Districts for January – June, 1988.